

## 平成24年度大豆作況試験生育状況

[生育概況] (標播後95日, 晩播後55日)

標播栽培は、高温傾向により生育が旺盛で、タンレイでは主茎長が長く、主茎節数、分枝数、総節数も多くなっている。あやこがねでは、主茎長が長く倒伏が見られる。主茎節数は平年並みであるが、分枝数、総節数は少なくなっている。ミヤギシロメも主茎長が長く倒伏が見られるが、主茎節数、分枝数、総節数は多くなっている。また、開花期間が少雨だったことから全体的に着莢節数は少ない傾向となっている。

晩播栽培は播種後からの高温の影響により、生育が進み主茎長は長く、開花期は平年並であった。主茎節数、分枝数、着莢節数は平年並み～やや少なくなった。

表1 9月1日現在の生育状況

播種期	品種名	栽植密度 (本/㎡)		開花期 (月.日)	主茎長 (cm)	茎径 (mm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	総節数 (節/本)	着莢節数 (節/本)
標播 (5月25日)	タンレイ	13.9	本年	7.29	95.8	11.0	18.3	4.3	44.0	26.5
			平年比(%)	+4	124	101	110	106	110	95
	あやこがね	13.9	本年	7.29	88.3	9.8	15.9	3.2	34.7	19.2
			平年比(%)	+3	117	88	99	81	85	75
タチナガハ	13.9	本年	7.29	97.2	12.6	17.7	6.3	49.0	31.0	
		平年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	
ミヤギシロメ	14.7	本年	8.4	131.1	12.6	18.5	6.0	58.0	29.1	
		平年比(%)	+3	123	109	98	134	110	110	
晩播 (7月5日)	タンレイ	28.2	本年	8.11	82.5	7.4	13.1	2.6	23.3	16.9
			平年比(%)	0	124	96	101	100	96	109
	あやこがね	27.7	本年	8.12	86.6	8.0	13.8	2.0	21.4	11.1
			平年比(%)	0	137	95	109	81	92	82

注1) 平年値は過去5か年の値を用いて算出。

注2) 開花期のみ平年値との差を表しており、その他の項目は平年比を表している。

注3) タチナガハは平成24年度より供試のため、平年比はない。